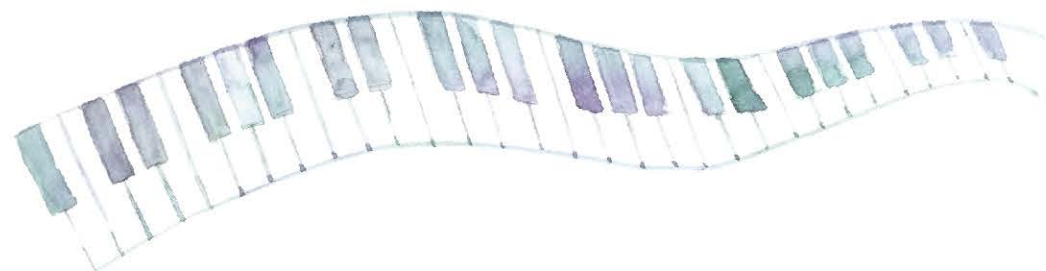


氏名 (複数の場合は代表者)	ふりがな _____	男・女 (○をつけてください) 西暦 年 月 日生 (歳)
代表者の住所	〒 _____	
代表者連絡先	TEL _____	
	携帯電話 _____	
	FAX _____	
受講人数	名 受講者の全員の氏名 (複数の場合) _____	
受講するものに○	第1回 「譜読み、達人への第一歩!」 締切7月5日当日消印有効	
	第2回 「モーツァルトを題材として音楽の歌い方、強弱等について考えてみよう!」 締切7月21日当日消印有効	
	第3回 「3拍子は得意?苦手?」 締切8月25日当日消印有効	

スガナミ楽器使用



Lecture for Piano Concours

3回シリーズ講座

ピアノコンクールに向けて

第1回

譜読み、達人への第一歩!

～楽しみながらメキメキ上達するコツ、教えます～

2019.7/14 (日)
10:30～12:00

スガナミ楽器ミュージックサロン多摩

講師 堀 由紀子

第2回

モーツァルトを題材として、音楽の歌い方、強弱等について考えてみよう!

…何の指示も書いてないよう見えながら、まるで宝探しのように色々な事が読み取れる…その方法を伝授します。

2019.8/4 (日)
15:00～16:30

スガナミ楽器ミュージックサロン目黒

講師 山田 彰一

第3回

3拍子は得意?苦手?

メヌエット、ワルツなどの舞曲から3拍子のリズムを考えてみましょう。

2019.9/8 (日)
10:30～12:00

スガナミ楽器ミュージックサロン経堂

講師 草野 明子



譜読みはつらいなあ、弾けるようになるまでの譜読みの段階は面倒で好きじゃない、という声をよく耳にします。この講座では、初めての譜面を手にしたときから音楽を楽しむための、ちょっとしたコツをお伝えします。ついでに、初見が得意になるための方法も身につけてしましましょう!また「こんな曲を新しく譜読みするのならどのようにアプローチすれば良いかのアドバイスがほしいな」「こんな譜面が初見で弾けるようになりたいな」というものがあれば、譜面を持参して下さい。そのいくつかを取り上げて、私ならばどのようにアプローチするかを実演したり、楽しく効率のよい方法について、わかるようにアドバイスします。

モーツァルト作曲 ソナタ 八長調 K545 第一楽章を題材にします。ペーレンライター原典版、ウィーン原典版、ヘンレ版等を用意してください。ない場合は、こちらで準備します。

皆さん3拍子は難しいと考えていませんか?今回は、3拍子を取り上げ、日本人の持つリズムのDNAでは何が足りないかを改めて考えてみたいと思います。目からウロコ!!

申込手続

別紙の申込用紙に必要事項をすべて記入の上、以下のいずれかでお申込下さい。

- ①現金書留で、申込書と受講料を下記まで送付して下さい。
- ②スガナミ楽器各店、各センターで、申込書と受講料を添えて申込をして下さい。

<郵送先>

〒194-0021
東京都町田市中町1-17-3-4階
スガナミ楽器(株)ピアノコンクール事務局 宛
TEL : 042-722-2910

*受講対象者

- 子供から大人まで
- ピアノを始めたばかりの方
- これからコンクールを受ける方
- コンクールを受けている方
- どのような勉強をしたらよいか
- もう一度勉強をしたい方
- 指導者の方 等

*受講料金 *申込締切

1講座申込1名につき **1,500円** (税別) 3講座申込1名につき **4,000円** (税別)
第1回締切 7月5日当日消印有効 第2回締切 7月21日当日消印有効 第3回締切 8月25日当日消印有効

主催 スガナミ楽器株式会社
<https://www.suganami.com/>

Lecture for Piano Concours

講師プロフィール



堀 由紀子 (ほり ゆきこ)

東京芸術大学附属音楽高校、同大学を経て、同大学院修士課程を修了。クロイツァー賞を受賞。1986年に渡欧、マリア・カナルス国際コンクールで第3位に入賞、スイスを中心とする欧州各地で活発な演奏活動を行う。リサイタルや室内楽共演の他、東響、東フィル、英国王立音楽院室内管弦楽団、ヴィンタートゥール市立響などと、古典から現代にわたるピアノ協奏曲を協演。1991年の東響世界公演の際にはソリストとして同行。1998年に帰国、「J.S.バッハ・パルティータ連続演奏会I〜VI」、幾つかのCDの出版を経て、現在はトーク付きのシリーズ「ひとときクラシック」を好評のうちに展開中。フェリス女学院大学教授、この4月より音楽学部長を務める。



山田 彰一 (やまだ しょういち)

東京芸術大学大学院音楽研究科修了。1979年、モーツァルテウム夏期講習会(オーストリア・ザルツブルク市)に参加し、T.ニコライヴァ女史に師事。1982年、再度渡欧。ドイツ(デュッセルドルフ市)に留学。M.M.シュタイン教授のもとでマルティエンセンのメソッドを研究する。ラインラント州立音楽大学(R.シューマン学院)の講師として、同大学及び、デュッセルドルフ市で数回のリサイタルを行い好評を得る。1979年、東京文化会館小ホールにてデビューリサイタル。以後、度々リサイタルを開催するかたわら、オーケストラとの共演、室内楽、歌曲伴奏等幅広く活動している。山本昇、池本純子、安川加寿子、松浦豊明、G.ヴァッシャヘリ、G.ブッヘルト、A.ウェーバー・ジンケの各氏に師事。現在武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあたっている。



草野 明子 (くさの あきこ)

東京都立芸術高校(現 東京都立総合芸術高校)音楽科ピアノ科を経てウィーン国立音楽大学に留学。故林美奈子、深沢亮子、故E.ムラツェック教授、A.イエンナー教授の各氏に師事。1980年最優秀賞を得て卒業。同年イタリアに渡り、S.ペルティカローリ教授に師事。イタリア各地で演奏会・TV放送を行い、コンクールやオーディションなど受賞歴多数。1985年帰国。これまでに24回の自主リサイタルの他室内楽の演奏会、録音などの活動に加え、公開講座、公開レッスン、またコンクールの審査員でも活躍中。現在、国立音楽大学教授。